

何気ない日常が島の歴史になるプロジェクト

何気ない日常が 歴史になる

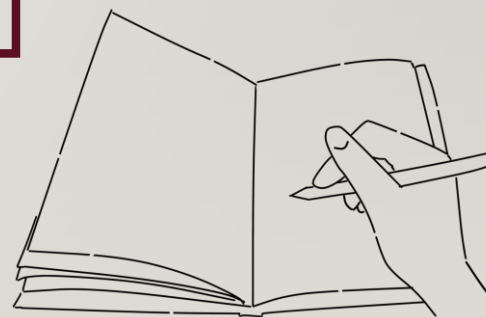
～ 島の宝さがし ～



実施する取り組み

- 公民館講座

「聞き書き講座」



取り組みの目的

- 失われつつある島の伝統・文化・くらしを聞き書きし、文字にすることで「歴史」となり、次の世代に伝える
- 興味ある人が自身の生涯学習の取り組みとして行う
- 語り手と聞き手の（世代間）交流
- 聞き手は島の良さを発見し、誇りに感じる
- 聞き手は「聞き書き」のスキルが身に付く
- 語り手の自己有用感が高まる

具体的な取り組み



スケジュール

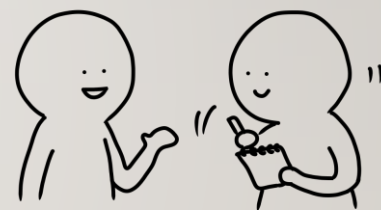
3月 次年度公民館講座「聞き書き」講座開設 募集開始

対象：中学生～一般 講師：三上大輔

5月 講座スタート

聞き書きの説明と練習

6月 語り手のピックアップ（推薦・希望者）



7月～ 少人数のグループで聞き書きスタート

10月 聞き書きをまとめる

11月 生涯学習フェスティバルにて展示発表・小冊子作製

＊単年度でなく、長く続けていける講座を目指す

＊小冊子を毎年度作成し、受講生と語り手、図書館・学校等に配布

＊語り手主体で自由に語ってもらう

目 標

- ・町誌の付帯事業や
町の〇周年事業の一環として
掲載や出版
→広く町民の目に留まることにより
歴史となっていく

予算をどうするか

- ・公民館講座のため、講師には規定謝金がある
- ・聞き手は公民館講座の受講費を払う
- ・講座の会場使用料は無料
- ・録音は町誌事業で購入した録音機材を使用、写真は個人のスマートフォンを使用